

授業概要

私たちは持続可能な社会の実現に向けて行動することが求められている。このような状況にあって、「持続可能な社会とはどのような社会か」という問題について、経済学が導き出す結論が社会の処方箋として有効な手段となりうることを理解できるよう講義する。特に学生諸君には自分の課題として受け止めてもらい、市場経済についての理論分析とデータに基づいた正しい認識を持てるようにしたい。またこの講義を通じて、どのように行動すれば持続可能な社会が実現できるのかについて考えたい。このような問題意識の下、この講義が、学生諸君にとって考える切っ掛けとなるように講義を進めていきたい。

授業計画

第1回	ガイダンス 授業概要と評価方法
第2回	消費者行動 需要法則
第3回	生産者行動(1) 供給法則
第4回	市場の理論 価格の決定
第5回	経済取引から得られる利益 消費者余剰と生産者余剰
第6回	生産者行動(2) 生産費に環境保全費用、例えばゴミ処理費用を追加する
第7回	経済分析(1) 市場取引と経済政策 損失(死荷重)の発生
第8回	経済分析(2) 生産者余剰の変化
第9回	経済分析(3) 消費者余剰の変化
第10回	ゴミ処理費用追加前を再考する 総余剰として適切か
第11回	ゴミ処理費用を生産費に入れずに生産活動している社会 良い所と悪い所
第12回	ゴミ処理費用を生産費に入れて生産活動している社会 良い所と悪い所
第13回	ゴミ処理費用を生産費に入れて生産活動している社会としない社会 どちらが望ましいか
第14回	私たちが目指す社会(1) SDGs
第15回	私たちが目指す社会(2) 包摂社会
第16回	期末試験 筆記試験の実施

到達目標

経済学の考え方、分析手法、論理体系を学ぶことで、よりよい国際社会を構築するために社会をどうデザインしたらよいかを考えることを通じて、最終的には学生個人が一人の社会人としての見識を持ち、現代社会を批判的に考察できる。

履修上の注意

この授業は、PBL (Project Based Learning) を積極的に用い、学生間での意見交換を重視し参加型の講義を行う。また、事前的に経済学の知識は必要なく、必要に応じてその都度経済学の考え方を紹介する。なお、遅刻3回で欠席1回分にカウントする。授業において特別講師等を外部から招聘する場合がある。

必要なら初歩的レベルから丁寧に解説をしていくので、基礎知識がなくてもやる気さえあれば十分な能力を身につけられるように指導します。

予習復習

第14回のSDGsと第15回の包摂社会について事前に調べておくこと。講義で描いた図が何を表しているのかを講義後にまとめること。

評価方法

期末試験としての筆記試験 100%で評価する。また、毎回出席を取る。

テキスト

特に指定はしないが、その都度推奨図書や参考図書を紹介し、その他必要に応じて、HP 等からのデータ引用を行う。

授業概要

「経済学入門」の授業では、日常生活のなかで起こっている経済的行動(消費や労働、企業活動、政府の政策、貿易など)を考えるために必要な知識や考え方を学びます。経済の活動や現象を理解して自分で説明しようとすると、意外と難しい。それは経済学的な考え方や理解力が身に付けていないからです。授業は経済学的行動や経済現象に対する理解力・解釈力を養うことを狙いとします。

授業計画

第 1 回	経済学という学問の紹介
第 2 回	日常生活の中での経済学①：先行、効用、限界、限界効用逓減の法則
第 3 回	日常生活の中での経済学②：需要曲線、供給曲線、神の見えざる手
第 4 回	日常生活の中での経済学③：稀少性、トレード・オフ、機会費用、埋没費用
第 5 回	日常生活の中での経済学④：消費者余剰、生産者余剰、経済余剰、パレート最適
第 6 回	企業活動における経済学①：生産要素 (N,K,L)、生産関数、費用曲線
第 7 回	企業活動における経済学②：利潤の最大化、限界収入、限界費用
第 8 回	企業活動における経済学③：完全競争市場、独占市場、寡占市場
第 9 回	企業活動における経済学④：市場の失敗、情報の非対象性、公共財、外部性
第 10 回	政府の経済政策と経済成長を巡る経済学①：GDP、付加価値、経済成長率
第 11 回	政府の経済政策と経済成長を巡る経済学②：物価指数、インフレーション、デフレーション
第 12 回	政府の経済政策と経済成長を巡る経済学③：中央銀行、金融政策、乗数効果
第 13 回	政府の経済政策と経済成長を巡る経済学④：財政政策、赤字財政、赤字国債
第 14 回	貿易を巡る経済学①：固定為替相場、変動為替相場、外国為替市場、円高、円安
第 15 回	貿易を巡る経済学②：国際収支、比較生産費、WTO、TPP
第 16 回	筆記試験

到達目標

- ・経済学の基本的な知識・専門用語を身に付け、経済の話やニュース、文章を理解できる(例：GDP、物価、景気、所得、中央銀行、政府財政、金融政策、為替レートなどの意味することが分かる)。
- ・経済学独特の考え方を理解・取得し、これからの経済学の勉学を進める事が出来る(例：無差別曲線、価格弾力性、経済余剰、パレート最適、機会費用、効用、限界費用、均衡、外部経済なその用語が分かる)。

履修上の注意

- ・世界中どの国でも「経済学」の勉強は大学 1 年生の時に全員一斉にスタートします。経済学での専門用語や経済学独特の考えが多く出てきます。授業で学んだ専門用語や新しい考え方は確りと復習して、自分のものにしていくこと。
- ・大学は履修する科目選択の自由はあるが、授業の出席・欠席の自由はありません。
- ・教員情報は大学 HP、インターネットでキーワード「福永肇」で検索して入手してください。
- ・授業の進捗状況、受講生の理解度、関心度に応じてシラバスの授業計画は変更する場合があります。

予習・復習

・講義予定の教科書の該当箇所を事前に一読しておくことと共に、各回の授業終了後に配布したレジュメと教科書の該当部分で十二分に復習してください。「経済学」は皆さんにとって初めて接する学問分野であり、初めて接した専門用語、経済学での考え方などを復習を通じて理解し、自分のものにする必要があります。

評価方法

・学期末試験 80%、レポート 20%。詳細は授業で説明します。

テキスト

- ・教科書名：『サクッとわかるビジネス教養 経済学』
 - ・著者名：井堀利宏監修
 - ・出版社：新星出版社
 - ・出版年 (ISBN)：2022 年 9784405120181
- 講義はこの教科書に沿って授業を進める予定です。授業には教科書を持参し、受講後には教科書で復習ください(古書でも結構です)。